

## 安全対策を怠った!

### 神戸地検がJR西日本本社強制捜索

「稼ぐ!」からまねいた経営責任に鋭いメス!  
井出正敬・元会長からも事情聴取!

#### 福知山線事故 JR西本社を捜索

兵庫県尼崎市で2005年4月、乗客106人が死亡したJR福知山線脱線事故で、神戸地検は7日、JR西日本本社(大阪市北区)の社長室など数か所を業務上過失致死傷容疑で捜索した。同事故を巡って、同社が捜索を受けるのは初めて。地検は、山崎正夫社長(65)ら歴代幹部の起訴の可否を決めるには強制捜査が不可欠と判断。年内の処分

に向け捜査を進める。地検は近く、山崎社長から任意で事情聴取する方針。この日朝から、地検の係官ら約20人が社長室のほか法務室などを捜索し、関係書類などを押収した。

事故では、山崎社長ら幹部9人と死亡した運転士の計10人が同容疑で書類送検された。このうち山崎社長ら5人は1996年12月20日に現場カーブを付け替えた前後、安全対策を担当す

る鉄道本部の幹部らだった。しかし、カーブ手前で速度超過を防ぐ自動列車停止装置(ATIS)を設置せずに安全対策を怠った過失があったとされる。その後、地検は改めて捜査し、96年当時の社長で、送検されていない井手正敬・元会長(73)から参考人として事情を聞いている。

会社経営陣の言うこと、進める施策がすべて正しいと思ったら大間違い! 労働組合がチェック機能を放棄したら、とんでもないことになりま

大丈夫か?  
JR東海

尼崎脱線 JR西本社を捜索  
百七人が死亡し、五百六十二人が負傷した二〇〇五年四月の尼崎JR脱線事故で、神戸地検が七日に業務上過失致死傷容疑でJR西日本本社(大阪市北区)の社長室や法務室

元担当幹部の立件の可

否を判断するには強制捜査が欠かせないと判断した。地検は近く山崎社長から事情を聴く方針で、年内にも起訴するかどうかを判断するとみられる。

10月8日付 東京新聞夕刊